第２章　沼津市の歴史文化資産の概要

第１節　歴史文化資産の概要

本市の歴史文化資産には、法や条例に基づく指定等により保存・活用が図られているもの（指定等文化財）と、指定等を受けていないもの（未指定文化財）があります。

１　指定等文化財の概要

令和６年（2024）４月１日現在、本市における指定等文化財は、国指定14件、県指定28件、市指定46件、国登録14件となっています。類型別にみると有形文化財が70件、民俗文化財が６件、記念物が26件となっていますが、無形文化財や文化的景観、伝統的建造物群、保存技術はありません。なお、国・県指定の美術工芸品の中には、保存のために市外の博物館に寄託されているものもあります。

表17　指定・登録文化財の一覧

類型			国指定（国宝 重文）	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物		1	0	3	13	17
	美術工芸品	絵画	1	1	1	0	3
		彫刻	0	0	11	0	11
		工芸品	5	7	3	0	15
		書跡・典籍	1	1	1	0	3
		古文書	0	1	4	0	5
		考古資料	0	4	3	0	7
		歴史資料	0	1	8	0	9
	小　計		8	15	34	13	70
無形文化財			0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財		1	2	1	0	4
	無形の民俗文化財		0	2	0	0	2
記念物	遺跡		3	5	7	0	15
	名勝地		1	0	0	1	2
	動物・植物・地質鉱物		1	4	4	0	9
文化的景観			0	0	0	0	0
伝統的建造物群			0	0	0	0	0
合　計			14	28	46	14	102

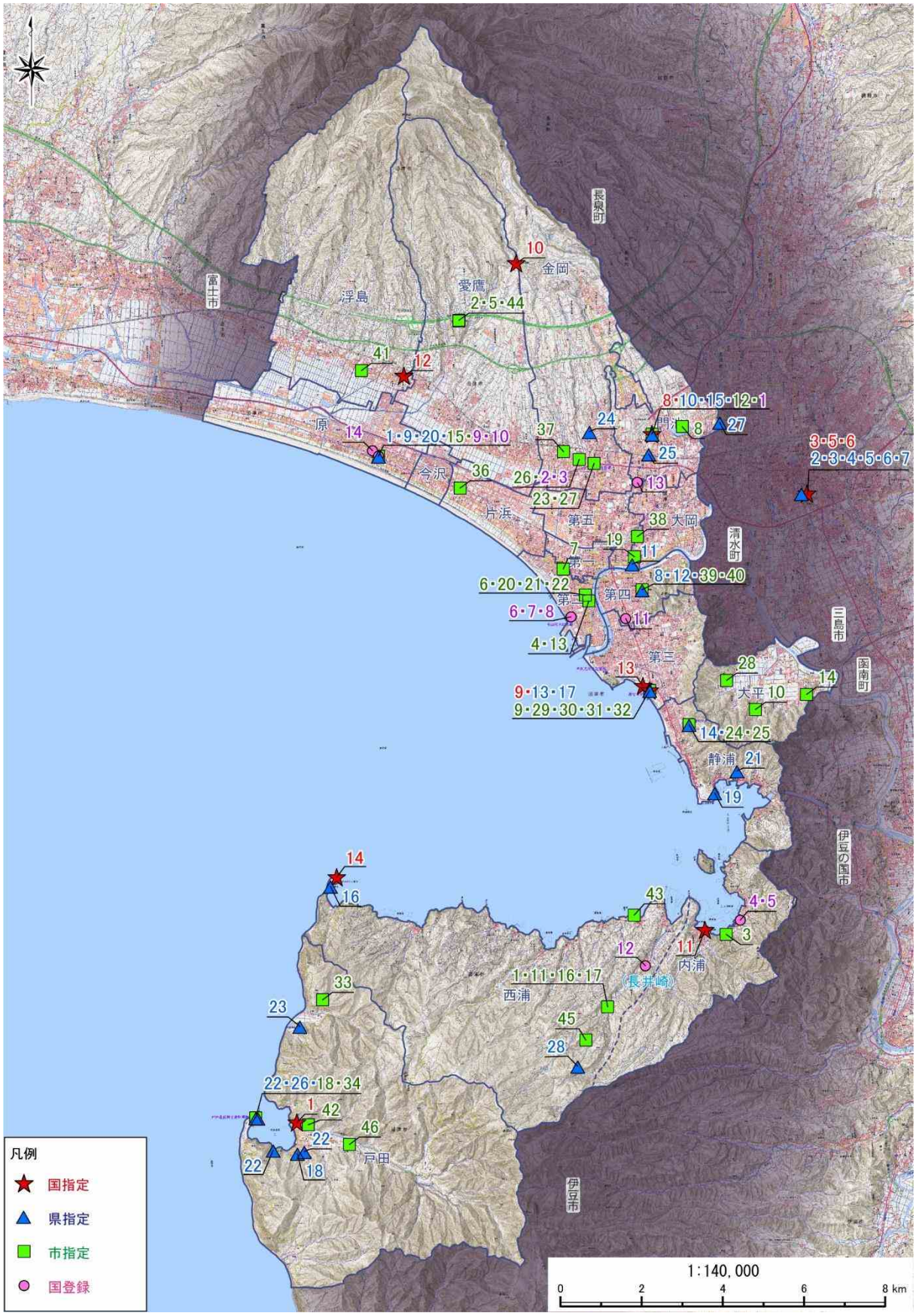


図21　指定等文化財の分布（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図の番号は表 18 と対応

表18　指定文化財一覧

国指定

No	分類			名　　称	指定年月日	所在地	所有者（管理者）
1	重要文化財	有形	建造物	松城家住宅	H18. 7. 5	戸田	沼津市
2	重要文化財	有形	絵画	紙本著色山王靈驗記	S25. 8.29	東京国立博物館	日枝神社
3	国宝	有形	工芸品	太刀　銘一	S27.11.22	佐野美術館	個人
4	重要文化財	有形	工芸品	短刀銘備中國住守次作延文二年八月日	S27. 7.19	大岡	個人
5	重要文化財	有形	工芸品	太刀　銘眞長　附絲巻太刀拵	S29. 3.20	佐野美術館	個人
6	重要文化財	有形	工芸品	沈金獅子牡丹文長覆輪太刀拵	S29. 3.20	佐野美術館	個人
7	重要文化財	有形	工芸品	金銅聖観音像懸仏	S39. 5.26	千本常盤町	個人
8	重要文化財	有形	典籍	宝物集巻第一　附原表紙	H 6. 6.28	岡宮	光長寺
9	重要有形民俗文化財	民俗	有形民俗	沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具	H22. 3.11	歴史民俗資料館	沼津市
10	史跡	記念物	遺跡	休場遺跡	S54. 1.24	宮本・足高	沼津市ほか
11	史跡	記念物	遺跡	長浜城跡	S63. 5.13 H14.12.19追加	内浦長浜・内浦重須	沼津市ほか
12	史跡	記念物	遺跡	興国寺城跡	H 7. 3.17 H12. 3. 7追加 H19. 7.26追加 H24. 9.19追加	根古屋・青野	沼津市ほか
13	名勝	記念物	名勝地	旧沼津御用邸苑地	H28.10. 3	下香貫	国（沼津市）
14	天然記念物	記念物	植物	大瀬崎のビャクシン樹林	S 7. 7.25	西浦江梨	大瀬神社(沼津市)

県指定

No	分類			名　　称	指定年月日	所在地	所有者（管理者）
1	有形文化財	有形	絵画	白隠自画像	S43. 7. 2	原	松蔭寺
2	有形文化財	有形	工芸品	槍　名物蜻蛉切	S30. 2.25	佐野美術館	個人
3	有形文化財	有形	工芸品	太刀　銘景則	S30. 4.19	佐野美術館	個人
4	有形文化財	有形	工芸品	太刀　銘備州長船住近景	S30. 4.19	佐野美術館	個人
5	有形文化財	有形	工芸品	太刀　銘了戒	S30. 4.19	佐野美術館	個人
6	有形文化財	有形	工芸品	刀　銘津田越前守助廣	S30. 4.19	佐野美術館	個人
7	有形文化財	有形	工芸品	短刀　銘信國　倶利迦羅透彫	S32. 5.13	佐野美術館	個人
8	有形文化財	有形	工芸品	梵鐘	S31.10.17	本郷町	霊山寺
9	有形文化財	有形	典籍	科註妙法蓮華経	S30. 4.19	原	松蔭寺
10	有形文化財	有形	古文書	法門聴聞集　附連々聴聞集　日弁消息 日意筆法門聴聞集表題並びに奥書	H 6. 3.25	岡宮	光長寺
11	有形文化財	有形	考古資料	玉砥石	S31. 5.24	平町	沼津市
12	有形文化財	有形	考古資料	蔵骨器	S31.10.17	本郷町	霊山寺
13	有形文化財	有形	考古資料	子持勾玉　附臼玉他滑石製模造品	S33. 9. 2	歴史民俗資料館	個人
14	有形文化財	有形	考古資料	植出北Ⅱ遺跡出土ガラス勾玉鎔范４点	R 2.12. 8	文化財センター	沼津市
15	有形文化財	有形	歴史資料	繍字法華経　附１幅	H 8.11.18	岡宮	光長寺
16	有形民俗文化財	民俗	有形民俗	大瀬神社奉納漁船模型	S56.10.23	西浦江梨	大瀬神社
17	有形民俗文化財	民俗	有形民俗	浮島沼周辺の農耕生産用具	H 2. 3.20	歴史民俗資料館	沼津市
18	無形民俗文化財	民俗	無形民俗	戸田の漁師踊・漁師唄	S54.11.19	戸田	戸田の漁師踊・漁師唄保存会
19	無形民俗文化財	民俗	無形民俗	江浦の水祝儀	H11. 3.15	江浦	江浦区
20	史跡	記念物	遺跡	白隠禅師墓	S29. 1.30	原	松蔭寺
21	史跡	記念物	遺跡	江浦横穴群	S52. 3.18	江浦	沼津市他
22	史跡	記念物	遺跡	洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所 附関係遺品一括	S42.10.11 S56.10.23 （名称変更）	戸田	沼津市他
23	史跡	記念物	遺跡	井田松江古墳群	H 7. 3.20	井田	沼津市他
24	史跡	記念物	遺跡	長塚古墳	H11.11.16	東沢田	沼津市
25	天然記念物	記念物	植物	岡宮浅間神社のクス	S44. 5.30	岡宮	岡宮浅間神社
26	天然記念物	記念物	植物	御浜岬のイヌマキ群生地	S55.11.28	戸田	沼津市
27	天然記念物	記念物	地質鉱物	鮎壺の滝	H 8. 3.12	大岡ほか	国他
28	天然記念物	記念物	植物	河内の大スギ	H14. 3.22	西浦河内	河内区

市指定

No	分類			名称	指定年月日	所在地	所有者（管理者）
1	有形文化財	有形	建造物	禅長寺頼政堂	H12. 3.31	西浦河内	禅長寺
2	有形文化財	有形	建造物	赤野観音堂	H12. 3.31	柳沢	廣大寺
3	有形文化財	有形	建造物	大川家長屋門	H20. 1.17	内浦長浜	個人
4	有形文化財	有形	絵画	涅槃図	H21. 3.30	下河原町	妙海寺
5	有形文化財	有形	彫刻	木造十一面観世音菩薩立像	S47.12.14	柳沢	廣大寺
6	有形文化財	有形	彫刻	木造阿弥陀如来三尊立像	S47.12.14	下小路町	西光寺
7	有形文化財	有形	彫刻	木造盧舎那仏坐像	S47.12.14	市道町	慈光院
8	有形文化財	有形	彫刻	木造地蔵菩薩坐像	S50. 5. 8	大岡	三明寺
9	有形文化財	有形	彫刻	木造伝月光菩薩立像	S50. 5. 8	歴史民俗資料館	興隆寺
10	有形文化財	有形	彫刻	木造観世音菩薩立像	S50. 5. 8	大平	徳楽寺
11	有形文化財	有形	彫刻	木造阿弥陀如来立像	S50. 5. 8	西浦河内	禅長寺
12	有形文化財	有形	彫刻	木造金剛力士像　阿形･吽形	S50. 5. 8	岡宮	光長寺
13	有形文化財	有形	彫刻	木造釈迦如来坐像	S50. 5. 8	下河原町	妙海寺
14	有形文化財	有形	彫刻	木造観世音菩薩立像	S55. 5.15	大平	龍音寺
15	有形文化財	有形	彫刻	木造白隠禅師坐像	H29. 3.28	原	松蔭寺
16	有形文化財	有形	工芸品	千手観音像懸仏	H15. 1.31	西浦河内	禅長寺
17	有形文化財	有形	工芸品	大日如来像懸仏	H15. 1.31	西浦河内	禅長寺
18	有形文化財	有形	工芸品	諸口神社の鰐口	H18. 3.28	戸田	諸口神社
19	有形文化財	有形	書跡	京極為兼卿書状	S60. 2.21	平町	日枝神社
20	有形文化財	有形	古文書	今川氏親生母伊勢氏寺領寄進状	S47.12.14	下小路町	西光寺
21	有形文化財	有形	古文書	今川氏親生母伊勢氏寄進寺領書立	S47.12.14	下小路町	西光寺
22	有形文化財	有形	古文書	今川氏親棟別役免除朱印状	S47.12.14	下小路町	西光寺
23	有形文化財	有形	古文書	獅子浜植松家戦国文書	H23. 2. 8	明治史料館	個人
24	有形文化財	有形	考古資料	休場遺跡出土細石器	S58.12.15	文化財センター	沼津市
25	有形文化財	有形	考古資料	軒通遺跡出土壺形土器	S58.12.15	文化財センター	沼津市
26	有形文化財	有形	考古資料	三角縁神獣鏡	H20. 1.17	中沢田	大中寺
27	有形文化財	有形	歴史資料	輿地航海図	S59. 4.19	明治史料館	個人
28	有形文化財	有形	歴史資料	大平村絵図	H 2. 3.29	大平	桃源院
29	有形文化財	有形	歴史資料	三枚橋絵図	H 2. 3.29	歴史民俗資料館	沼津市
30	有形文化財	有形	歴史資料	沼津宿絵図	H 2. 3.29	歴史民俗資料館	沼津市
31	有形文化財	有形	歴史資料	本町絵図	H 2. 3.29	歴史民俗資料館	沼津市
32	有形文化財	有形	歴史資料	上香貫絵図	H 2. 3.29	歴史民俗資料館	個人
33	有形文化財	有形	歴史資料	井田の不動明王像	H18. 3.28	井田	個人
34	有形文化財	有形	歴史資料	ディアナ号の錨	H18. 3.28	戸田造船郷土資料博物館	沼津市
35	有形民俗文化財	民俗	有形民俗	沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬	R 4. 9. 8	霊山寺ほか	口野区ほか
36	史跡	記念物	遺跡	神明塚古墳	S45. 2.19	松長	松長区
37	史跡	記念物	遺跡	子ノ神古墳	S45. 2.19	西沢田	西沢田区
38	史跡	記念物	遺跡	日吉廃寺塔址及び礎石	S45. 2.19	大岡	日吉区
39	史跡	記念物	遺跡	霊山寺変形宝篋印塔	S45. 2.19	本郷町	霊山寺
40	史跡	記念物	遺跡	霊山寺五輪塔	S45. 2.19	本郷町	霊山寺
41	史跡	記念物	遺跡	伝阿野全成・時元墓	S58. 6.15	井出	大泉寺
42	史跡	記念物	遺跡	日露交渉地跡大行寺	H18. 3.28	戸田	大行寺
43	天然記念物	記念物	植物	久連神社社叢	S52.12.22	西浦久連	久連区
44	天然記念物	記念物	植物	赤野観音堂のカヤ	S52.12.22	柳沢	廣大寺
45	天然記念物	記念物	植物	河内の稲荷スギ	H15. 1.31	西浦河内	河内区
46	天然記念物	記念物	植物	部田神社のコブ付大クス	H18. 3.28	戸田	部田神社

国登録

No	分類			名称	登録年月日	所在地	所有者（管理者）
1	登録有形文化財	有形	建造物	光長寺御宝蔵	H12. 2.15	岡宮	光長寺
2	登録有形文化財	有形	建造物	大中寺恩香殿	H12. 4.28	中沢田	大中寺
3	登録有形文化財	有形	建造物	大中寺通玄橋	H12. 4.28	中沢田	大中寺
4	登録有形文化財	有形	建造物	安田屋旅館松棟	H12. 4.28	内浦三津	安田屋旅館
5	登録有形文化財	有形	建造物	安田屋旅館月棟	H12. 4.28	内浦三津	安田屋旅館
6	登録有形文化財	有形	建造物	沼津倶楽部北棟	H27. 3.26	本	沼津倶楽部

No	分類			名　　称	登録年月日	所在地	所有者（管理者）
7	登録有形文化財	有形	建造物	沼津倶楽部南棟	H27．3.26	本	沼津倶楽部
8	登録有形文化財	有形	建造物	沼津倶楽部長屋門	H27．3.26	本	沼津倶楽部
9	登録有形文化財	有形	建造物	松蔭寺開山堂	H28．8．1	原	松蔭寺
10	登録有形文化財	有形	建造物	松蔭寺山門	H28．8．1	原	松蔭寺
11	登録有形文化財	有形	建造物	小栗家住宅主屋	R 2．4．3	上香貫	個人
12	登録有形文化財	有形	建造物	海瀬家住宅主屋	R 5．8．7	西浦河内	個人
13	登録有形文化財	有形	建造物	加藤学園暁秀初等学校本館	R 6．3．6	岡宮ほか	加藤学園
14	登録記念物	記念物	名勝地関係	帯笑園	H24．9.19	原	沼津市

2　未指定の歴史文化資産の概要

本市ではこれまで市史編さんや多くの調査によって、指定・未指定を問わず数多くの歴史文化資産を把握してきました。現在、2,449点の未指定の歴史文化資産を確認しています。また、近年は地区ごとの文化財まちあるきマップの作成を通じて、これまで分野別に把握されていた歴史文化資産を地区ごとに分類し整理してきました。

地区ごとの歴史文化資産は、令和６年（2024）４月１日現在、文化財まちあるきマップの作成に伴う現地調査を終了した原・浮島・金岡・内浦・西浦・戸田地区の総数が多くなっています。これは現地調査において、石造物などを多数確認できたからです。また、伝来する寺宝の一覧を公開している光長寺がある門池地区や、西光寺などの古くからの寺院が集中する第二地区も多くなっています。類型別では、有形文化財（美術工芸品）が最も多く、埋蔵文化財や有形文化財（建造物）、動物・植物・地質鉱物がそれに次いでいます。類型外では石造物や縁の地の数が多くなっています。

表19　未指定の歴史文化資産の地区毎一覧

類型（略称）	第一	第二	片浜	今沢	原	浮島	愛鷹	金岡	門池	大岡	第五	第四	第三	大平	静浦	内浦	西浦	戸田	市内各地	合計
有建	2	1	1	0	34	13	6	13	8	6	4	3	14	6	6	40	49	29	1	236
有品	1	16	4	2	5	7	8	191	84	11	13	1	69	6	31	20	19	33	0	521
無形	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
民俗	3	3	1	0	4	10	0	7	0	2	2	2	11	5	3	9	10	22	0	94
遺跡	11	8	1	0	9	2	3	2	2	4	6	4	0	8	14	12	4	11	5	106
名勝	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	7
天然	1	3	1	0	8	20	10	4	10	0	2	6	8	3	5	25	33	31	0	170
景観	1	2	0	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	3	2	9	0	25
伝建	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
埋文	8	5	8	1	12	66	57	111	22	31	11	9	17	12	9	16	42	16	0	453
技術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
石造	5	44	2	0	43	33	14	51	9	8	16	18	16	18	11	33	49	40	0	410
縁地	7	13	16	2	23	18	27	25	12	10	6	13	21	14	21	25	27	31	0	311
産業	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	2	1	0	0	1	5	0	14
伝承	2	4	0	0	5	10	6	0	3	0	4	4	7	2	2	11	10	27	0	97
合計	41	103	34	5	146	181	133	411	150	72	64	60	165	76	103	196	248	255	6	2,449

※複数地区にまたがる歴史文化資産については、初出の地区（表の左から右の順）で掲載しています。
※古文書・歴史資料等の資料群としてまとまりのある有形文化財は、資料としてのまとまりごとに１点として数えています。また、石造物などが１か所に複数個ある場合は、まとめて１点として数えています。

第２節　市内の歴史文化資産

本節では、本市の歴史文化の特徴をよく示す歴史文化資産の代表例を序章の分類（表12）に沿って示します。

１　有形文化財（建造物）

建造物は社寺建築や住宅建築に加え、別荘などの近代建築や現代建築など、多様な建造物があることが特徴です。

【社寺建築】

市指定として禅長寺頼政堂《西浦》、赤野観音堂《愛鷹》があります。禅長寺は、源頼政の妻菖蒲御前が隠れ住んだ伝承が残る寺院で、頼政堂は江戸時代に当時高崎藩主だった大河内松平氏によって寄進されました。江戸後期の禅宗様建築を伝えています。赤野観音堂は左甚五郎が一夜のうちに建てたという伝承がある建築物です。詳細な建築年代は不明ですが、江戸前期の様式といわれています。このほか、白隠禅師ゆかりの松蔭寺《原》には珍しい石瓦の山門があります。

赤野観音堂

未指定では、大中寺《金岡》に市内唯一の鐘楼門が残されています。大瀬神社《西浦》の社殿は昭和14年（1939）に再建されたものですが、拝殿の向拝や欄間に神社の由来を表す優れた彫刻が施されています。

【住宅建築】

重要文化財である松城家住宅《戸田》は、廻船業で財をなした松城兵作によって明治６年（1873）に棟上げされた擬洋風建築の住宅です。１階は伝統的和風建築ですが、２階部分は日本の大工が西洋建築をまねてつくった擬洋風のつくりとなっており、随所にある入江長八の漆喰鏝絵も大きな見所です。市指定の大川家長屋門《内浦》は江戸時代後期から明治時代前半に建てられたとみられる建築物ですが、主に江戸時代に津元（網元）を務めた大川家の威風を現代に伝える貴重な建物です。国登録の海瀬家住宅主屋《西浦》は市内で最も古い農家建築で、江戸時代後期の建築物です。

松城家住宅

未指定では、大行寺《戸田》の本堂は、

江戸時代末期に戸田村の名主斎藤家の家を移築したものだといわれており、改造されていますが海瀬家住宅と並び市内では最も古い住宅建築の様子を伝えています。なお、大行寺は、日露交渉地跡として市の史跡に指定されています。

【近代建築】

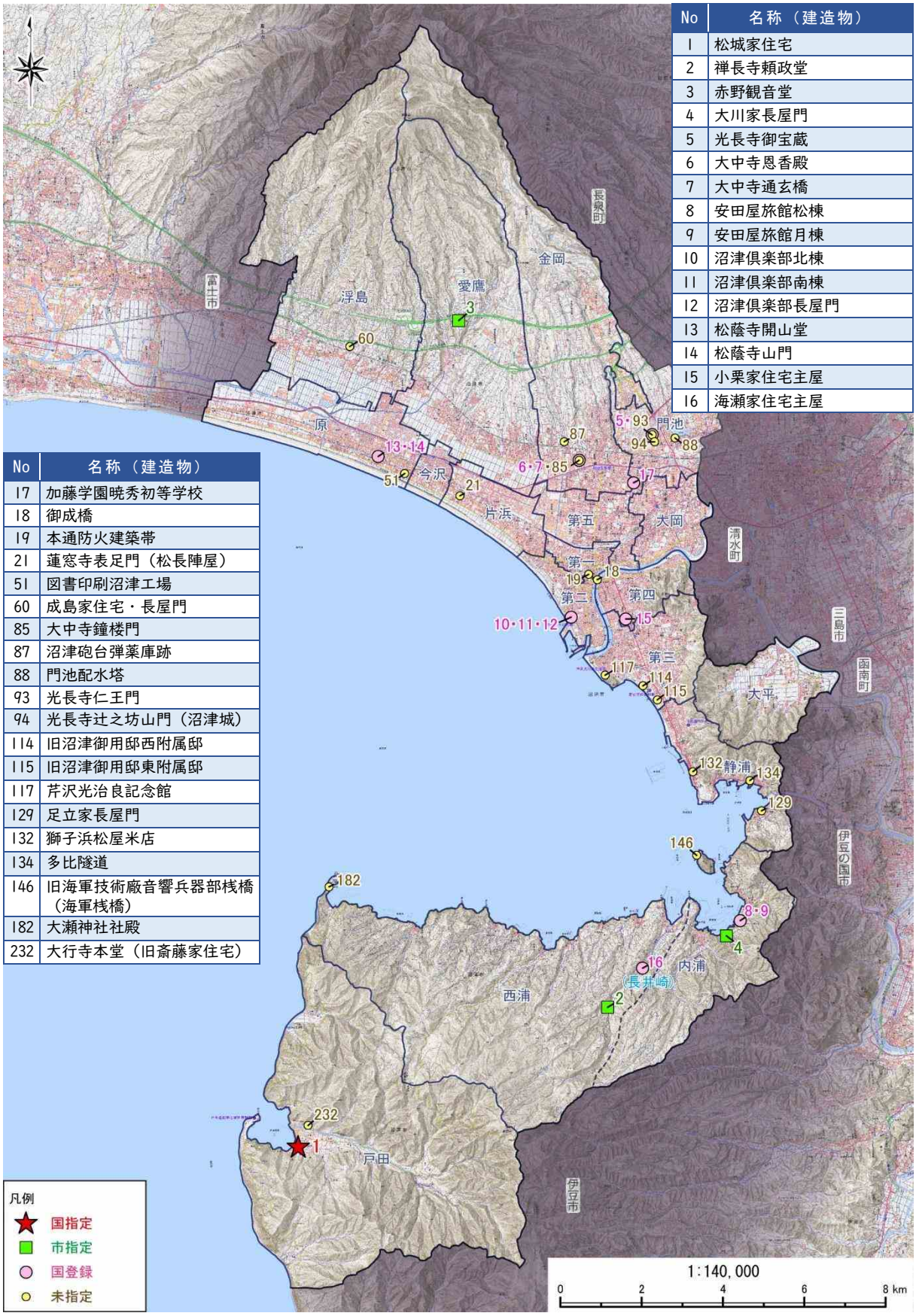
明治時代以降、東京から交通の便がよく温暖な気候であったことから保養地として繁栄した沼津には、別荘や旅館などの建物が造られました。明治26年（1893）に設置された沼津御用邸《第三》は、当時皇太子であった大正天皇の静養のために造営されました。本邸は太平洋戦争の空襲で焼失してしまいましたが、昭和天皇も滞在された西附属邸や東附属邸などが現存しています。沼津倶楽部《第二》（北棟・南棟・長屋門：国登録）は、広大な松原の中にミツワ石鹸の創業二代目三輪善兵衛の別荘として建てられ、当時の様子は絵葉書にも残されています。小栗家住宅主屋《第三》も、元は御用邸近くにあった別荘を移築したものと伝えられています。主屋の周りには回遊式の庭園が造作されており、数寄を凝らした部屋から望む借景の富士山が雄大です。安田屋旅館松棟・月棟《内浦》（国登録）は、松棟が大正７年（1918）、月棟が昭和６年（1931）に建築され、松棟の２階の部屋で太宰治が『斜陽』の１章と２章を執筆したことで有名です。近年、アニメの舞台として大きく取り上げられ、若者にも注目されています。

また、南部地域では近代に石材（主に凝灰岩質）を大規模に採掘していたことから、市域にはこれらの石材を積み上げた石蔵が各所に残っているほか、旧沼津御用邸の敷地を囲む石塀にも地元の石材が使われています。

【現代建築】

図書印刷沼津工場《原》は、教科書を大量に印刷するため、丹下健三が設計に関わり建設されました。中央に並んだ柱が屋根を支えるトラス構造で、印刷から製本までを一連の流れで行える広い空間を作り出しています。また、加藤学園暁秀初等学校本館《大岡》は、オープンスペースによる教育を実践するための日本で初めての校舎で、槇文彦が設計しました。以上は国際学術組織DOCOMOMO Japanの「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定されています。このほか有名な建築家が設計した建物として、菊竹清訓が設計した芹沢文学館（現芹沢光治良記念館）があります。

図書印刷沼津工場



No	名称（建造物）
1	松城家住宅
2	禅長寺頼政堂
3	赤野観音堂
4	大川家長屋門
5	光長寺御宝蔵
6	大中寺恩香殿
7	大中寺通玄橋
8	安田屋旅館松棟
9	安田屋旅館月棟
10	沼津倶楽部北棟
11	沼津倶楽部南棟
12	沼津倶楽部長屋門
13	松蔭寺開山堂
14	松蔭寺山門
15	小栗家住宅主屋
16	海瀬家住宅主屋

No	名称（建造物）
17	加藤学園暁秀初等学校
18	御成橋
19	本通防火建築帯
21	蓮窓寺表足門（松長陣屋）
51	図書印刷沼津工場
60	成島家住宅・長屋門
85	大中寺鐘楼門
87	沼津砲台弾薬庫跡
88	門池配水塔
93	光長寺仁王門
94	光長寺辻之坊山門（沼津城）
114	旧沼津御用邸西附属邸
115	旧沼津御用邸東附属邸
117	芹沢光治良記念館
129	足立家長屋門
132	獅子浜松屋米店
134	多比隧道
146	旧海軍技術廠音響兵器部桟橋（海軍桟橋）
182	大瀬神社社殿
232	大行寺本堂（旧斎藤家住宅）

図22　主な有形文化財（建造物）の分布（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応

【その他の建築】

このほか本市の特徴的な建築としては、橋やトンネルなどの土木建築があげられます。本市は市街地を狩野川が流れるため、まちの発展には架橋が必要でした。皇族が旧沼津御用邸への往来に利用した御成橋は、明治45年（1912）に竣工した静岡県東部初の鉄橋で、架け替えられた現在の橋梁には戦時中の空襲の痕跡も残っています。南部地域は山地が多く、近代道路の敷設には隧道工事が不可欠でした。このうち旧三津坂隧道は、伊豆の内陸と三津を結ぶ重要な生活道で、明治29年（1896）に完成しました。現在は立ち入りを禁止していますが、現存するものとしては旧天城隧道よりも古く、伊豆地方最古といわれます。

２　有形文化財（美術工芸品）

有形文化財（美術工芸品）の主なものは神社・寺院に伝わる仏像や工芸品のほかに、蒐集家が集めたコレクションや貴重な古文書などがあげられます。特に白隠禅師ゆかりの絵画や旧家に伝わる古文書が多いことが特徴です。

【絵画】

日枝神社《第五》は平安時代の終わり頃に関白藤原師道の母によって近江国日枝神社を分祀して創建された神社です。日枝大社の縁起が記された「紙本著色山王霊験記」は、現代に伝わる山王社の縁起としては最も古い鎌倉時代の製作で、重要文化財に指定されています。

松蔭寺《原》の白隠自画像（県指定）は、白隠禅師が高弟東嶺円慈の妙心寺第一座転位の際の祝いとして描いた、２枚の自画像のうちの１枚です。１枚は火事で失われてしまいましたが、松蔭寺に残りの１枚があったことから、東嶺によってその由来が書かれ、寺に伝わってきました。

白隠自画像

妙海寺《第二》の涅槃図（市指定）は狩野元俊の作で、裏書から承応２年（1653）の施入とされます。元俊は江戸城・二条城・大坂城・日光東照宮などの画事に携わったとされる狩野派の代表的な絵師です。涅槃図は釈迦の入滅の情景を描いた図で、毎年釈迦の忌日に行われる涅槃会の本尊として信仰されています。妙海寺の涅槃図は縦320センチメートル、横240センチメートルの大画面で、市内最大幅の江戸時代前期の涅槃図としては貴重なものです。

【彫刻】

市域には歴史ある寺院が多く、多くの仏像が指定されています。そのうち西光寺《第

ニ》の木造阿弥陀如来三尊立像（市指定）は、中尊に阿弥陀如来、左右に観世音菩薩像と勢至菩薩像が配置され、快慶派の流れを汲む鎌倉時代後半の作とされています。このほか、龍音寺《大平》の木造観世音菩薩立像（市指定）や徳楽寺《大平》の木造観世音菩薩立像（市指定）は平安時代の作と伝わっています。木造白隠禅師坐像（市指定）は、白隠禅師の晩年の肖像を木彫りで現した頂相彫刻です。白隠の没後間もない明和６年（1769）に京都で制作されました。松蔭寺の開山堂に安置され、長年多くの修行僧の魂のよりどころとされてきた貴重な彫像です。

木造阿弥陀如来三尊立像

【工芸品】

市域には個人所有の歴史文化資産も数多くあります。市内に在住していた矢部氏は、戦後全国に散逸していた貴重な歴史文化資産を数多く蒐集し、今も家族が守り伝えています。現在は矢部コレクションとして三島市の佐野美術館に寄託されています。特に刀剣類は、太刀銘一が国宝、太刀銘眞長 附 絲巻太刀 拵 、沈金獅子牡丹文長覆輪太刀 拵 が重要文化財、槍名物蜻蛉切、太刀銘景則、太刀銘備州長船住近景、太刀銘了戒、刀銘津田越前 守助廣、短刀銘信國倶利迦羅透彫が県指定となっています。このほか、懸仏や梵鐘などの信仰に関わる工芸品もあります。

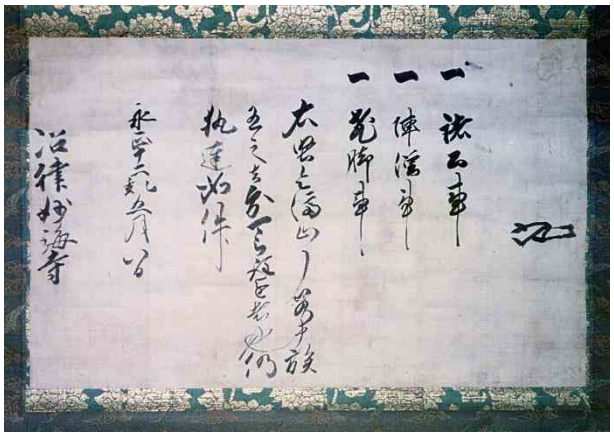
沈金獅子牡丹文長覆輪太刀拵

【書跡・典籍】

光長寺《門池》の宝物集巻第一 附 原表紙は平 康頼が著した説話集を光長寺の日春上人が写したもので、代表的な古抄本の１つとして重要文化財に指定されています。松蔭寺《原》の科註妙法蓮華経（県指定）は、白隠禅師が刊本の法華経に注釈を詳細に幾度にもわたって書き込んだもので、白隠の法華経に対する帰依のほどがうかがえるものです。

【古文書】

光長寺に伝わる法門聴聞集（県指定）は、日法上人が日蓮上人に師事してその教えを書き留めた文書です。これには浄書本である連々聴聞集など３点の古文書がついており、草創期の日蓮宗の状況を伝え、日蓮上人の思想を知るうえで重要な資料です。



伊勢宗瑞判物

本市には戦国時代の古文書が数多く伝えられています。西光寺《第二》には今川氏親の朱印状１通と母北川殿の古文書２通が市指定となっています。特に今川氏親生母伊勢氏寺領寄進状と今川氏親生母伊勢氏寄進寺領書立（いずれも市指定）は、文亀元年（1501）に北川殿が西光寺に宛てたものです。年代がわかっているものとしては市内最古の古文書で、この時期の今川氏の東駿河の支配状況を知るうえで貴重なものです。また、指定はされていませんが妙海寺《第二》の伊勢宗瑞判物は北条早雲こと伊勢宗瑞の花押が書かれた市内唯一の書状です。

獅子浜植松家戦国文書（市指定）は天文19年（1550）から天正９年（1581）までの間に発給された葛山氏・北条氏の計31通の古文書からなり、戦国時代後半の戦国大名による支配の変遷がうかがえる貴重な資料です。

このほか、南部地域には海の生活に関わる大変貴重な史料が豊富にあります。こうした史料は、渋沢敬三によって『豆州内浦漁民史料』として報告されたものもあり、市内の博物館のみならず国文学研究資料館（東京都立川市）などにも収蔵されています。

また、市内の旧家・自治体・博物館などには、近世から近代にかけての古文書群が大量に保存されており、これらは地域の歴史を身近に知ることができる重要な史料です。

【考古資料】

市域には多数の遺跡があり、発掘調査によって出土した考古資料が保存されています。指定物件を時代毎に整理すると、旧石器時代のものでは国史跡の休場遺跡《愛鷹・金岡》から出土した休場遺跡出土細石器（市指定）、弥生時代では植出北Ⅱ遺跡《金岡》出土ガラス勾玉鎔范４点（県指定）、軒通遺跡《片浜》出土壺形土器（市指定）、古墳時代から古代にかけては子持勾玉附臼玉他滑石製模造品《内浦》、玉砥石《第五》（県指定）、三角縁神獣鏡《金岡》（市指定）があります。中世では市の史跡に指定されている霊山寺五輪塔《第四》から見つかった蔵骨器が県指定となっています。未指定のものでも、井出丸山遺跡《浮島》から出土した石器群は、確実な資料として現段階では国内最古級と評価され、なかでも神津島産黒曜石製石器は旧石器時代の航海を証明する資料として大変貴重です。井出丸山遺跡以外でも愛鷹山の遺跡から出土した旧石器時代の石器群は、石

植出北Ⅱ遺跡出土ガラス勾玉鎔范

材の種類から当時の人とモノの動きの変遷がうかがえる貴重な資料です。

縄文時代では、葛原沢第Ⅳ遺跡《金岡》をはじめとする愛鷹山麓の縄文時代の遺跡から、土器・石器などが大量に出土しています。弥生時代では、雌鹿塚遺跡《原》などから出土した木製品によって農耕文化などを知ることができます。古墳時代では、前期初頭の東日本最古級かつ最大級の高尾山古墳《金岡》から出土した副葬品や土器群によって広域的な流通が認められ、宮下古墳《大岡・滅失》から出土した青銅製副葬品からは、古墳時代における仏教の影響がうかがえます。奈良時代以降では、日吉廃寺跡《第五》から古代瓦や塼仏が出土しており、地方への仏教文化の伝播を物語る資料といえます。

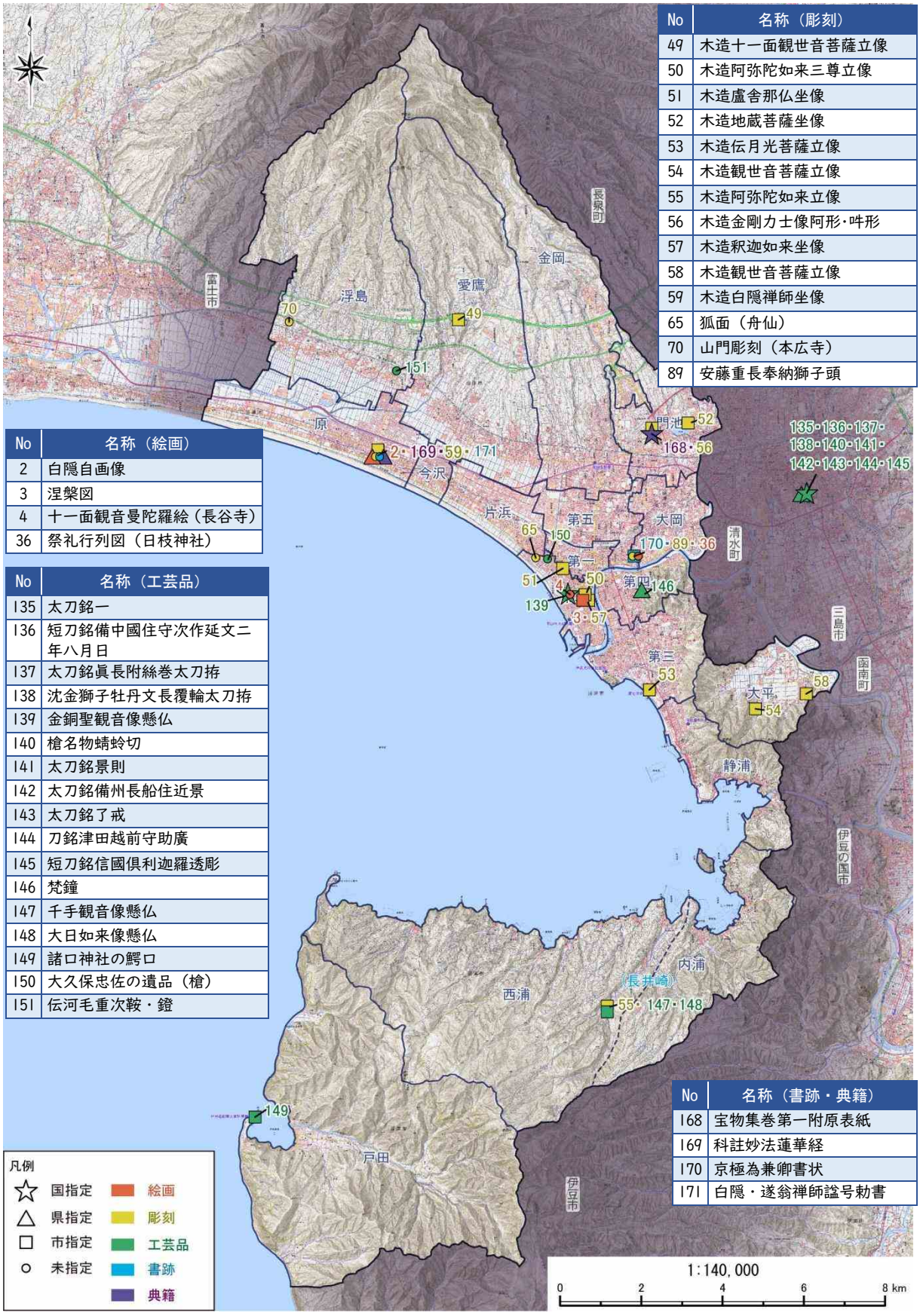
【歴史資料】

県の指定文化財として光長寺《門池》の繍字法華経附１幅があります。繍字とは刺繍のように糸で文字を繍い表したもので、もとは応永5年（1398）年に三島大社（三島市）に奉納されたものです。市指定としては、近世のまちや村の状況を詳細に伝えている絵図として大平村絵図《大平》、三枚橋絵図《第三》、沼津宿絵図《第三》、本町絵図《第三》、上香貫絵図《第三》があります。このほかにも未指定の江戸時代の各町・村絵図が現代に伝わっています。井田の不動明王像（市指定）《戸田》は、江戸幕府４代将軍徳川家綱の御宝塔の造営にあたり井田の石が使用されたことが銘文に記されています。輿地航海図（市指定）《金岡》は、イギリスで刊行された航海図が幕末に沼津藩士らの手によって翻訳・刊行されたものです。ディアナ号の錨（市指定）《戸田》は幕末に富士市の沖合で沈没したロシア船ディアナ号の錨が戦後に引き上げられ、うち１つが旧戸田村に寄贈されたものです。現在戸田造船郷土資料博物館の入り口前に展示されています。

ディアナ号の錨

３　無形文化財

本市には指定されている無形文化財はありません。未指定では、現在でも長唄で伝わっている「駿河土産」という演目があります。この歌詞を見ると、かつての帯笑園《原》で見ることができた植物や建物が写実的に表現されており、当時の帯笑園の姿がわかるものとなっています。歌詞や調べは唄本により伝わっていたため、地元で伝承されており、近年復曲され、コンサートが開かれるなど多くの人に親しまれています。



No	名称（彫刻）
49	木造十一面観世音菩薩立像
50	木造阿弥陀如来三尊立像
51	木造盧舎那仏坐像
52	木造地蔵菩薩坐像
53	木造伝月光菩薩立像
54	木造観世音菩薩立像
55	木造阿弥陀如来立像
56	木造金剛力士像阿形・吽形
57	木造釈迦如来坐像
58	木造観世音菩薩立像
59	木造白隠禅師坐像
65	狐面（舟仙）
70	山門彫刻（本広寺）
89	安藤重長奉納獅子頭

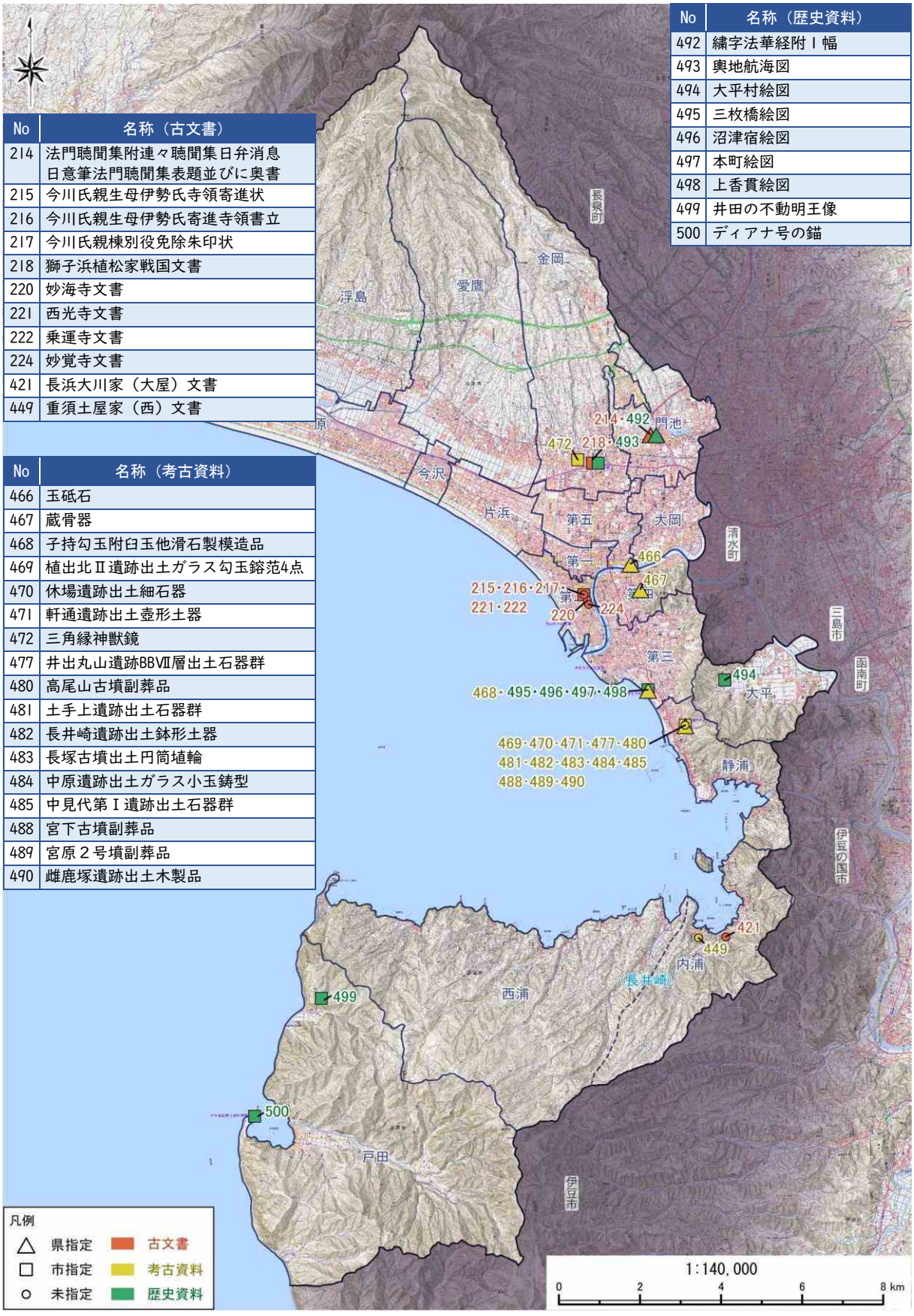
No	名称（絵画）
2	白隠自画像
3	涅槃図
4	十一面観音曼陀羅絵（長谷寺）
36	祭礼行列図（日枝神社）

No	名称（工芸品）
135	太刀銘一
136	短刀銘備中國住守次作延文二年八月日
137	太刀銘眞長附絲巻太刀拵
138	沈金獅子牡丹文長覆輪太刀拵
139	金銅聖観音像懸仏
140	槍名物蜻蛉切
141	太刀銘景則
142	太刀銘備州長船住近景
143	太刀銘了戒
144	刀銘津田越前守助廣
145	短刀銘信國倶利迦羅透彫
146	梵鐘
147	千手観音像懸仏
148	大日如来像懸仏
149	諸口神社の鰐口
150	大久保忠佐の遺品（槍）
151	伝河毛重次鞍・鐙

No	名称（書跡・典籍）
168	宝物集巻第一附原表紙
169	科註妙法蓮華経
170	京極為兼卿書状
171	白隠・遂翁禅師諡号勅書

図 23　主な有形文化財（絵画・彫刻・工芸品・書跡・典籍）の分布
（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応



No	名称（古文書）
214	法門聴聞集附連々聴聞集日弁消息 日意筆法門聴聞集表題並びに奥書
215	今川氏親生母伊勢氏寺領寄進状
216	今川氏親生母伊勢氏寄進寺領書立
217	今川氏親棟別役免除朱印状
218	獅子浜植松家戦国文書
220	妙海寺文書
221	西光寺文書
222	乗運寺文書
224	妙覚寺文書
421	長浜大川家（大屋）文書
449	重須土屋家（西）文書

No	名称（考古資料）
466	玉砥石
467	蔵骨器
468	子持勾玉附臼玉他滑石製模造品
469	植出北Ⅱ遺跡出土ガラス勾玉鎔范4点
470	休場遺跡出土細石器
471	軒通遺跡出土壺形土器
472	三角縁神獣鏡
477	井出丸山遺跡BBⅦ層出土石器群
480	高尾山古墳副葬品
481	土手上遺跡出土石器群
482	長井崎遺跡出土鉢形土器
483	長塚古墳出土円筒埴輪
484	中原遺跡出土ガラス小玉鋳型
485	中見代第Ⅰ遺跡出土石器群
488	宮下古墳副葬品
489	宮原２号墳副葬品
490	雌鹿塚遺跡出土木製品

No	名称（歴史資料）
492	繍字法華経附Ｉ幅
493	輿地航海図
494	大平村絵図
495	三枚橋絵図
496	沼津宿絵図
497	本町絵図
498	上香貫絵図
499	井田の不動明王像
500	ディアナ号の錨

図 24　主な有形文化財（古文書・考古資料・歴史資料）の分布
（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応

４　民俗文化財

本市には、海に関わるものなど特色ある民俗文化財が豊富にあります。

沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具（網漁具）

【有形の民俗文化財】

長い海岸線を有する本市の海岸部では、古くから漁撈が大きな生業の柱でした。沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具は、市内の南部地域で江戸時代から現代にかけて使われてきた漁撈用具2,539点が、一括して重要有形民俗文化財に指定されたものです。特に、駿河湾奥深くまで回遊してきた大量のマグロなどを建切網漁で捕らえる独特の漁法が注目されます。また、市内西部から富士市東部の広大な低湿地帯で使われていた農耕用具が、浮島沼周辺の農耕生産用具として県の有形の民俗文化財に指定されています。腰上まで水につかりながら田植えをしたという深田のために発達した農具が特徴的です。海の神として、駿河湾沿岸の漁業関係者にも信仰されている大瀬神社には、新船を建造した際に航海安全のために奉納された船の模型（大瀬神社奉納漁船模型）が良好に保存されています。

漁業にゆかりの深い地域であることから、豊漁などを祈念して建切網漁などの漁風景を描いた絵馬が奉納されています。これらの絵馬は、この地域特有の建切網漁や近代化の中での漁の変遷の様子を視覚的に知ることができる資料としても大変貴重であることから、市の有形民俗文化財に指定されているものもあります。

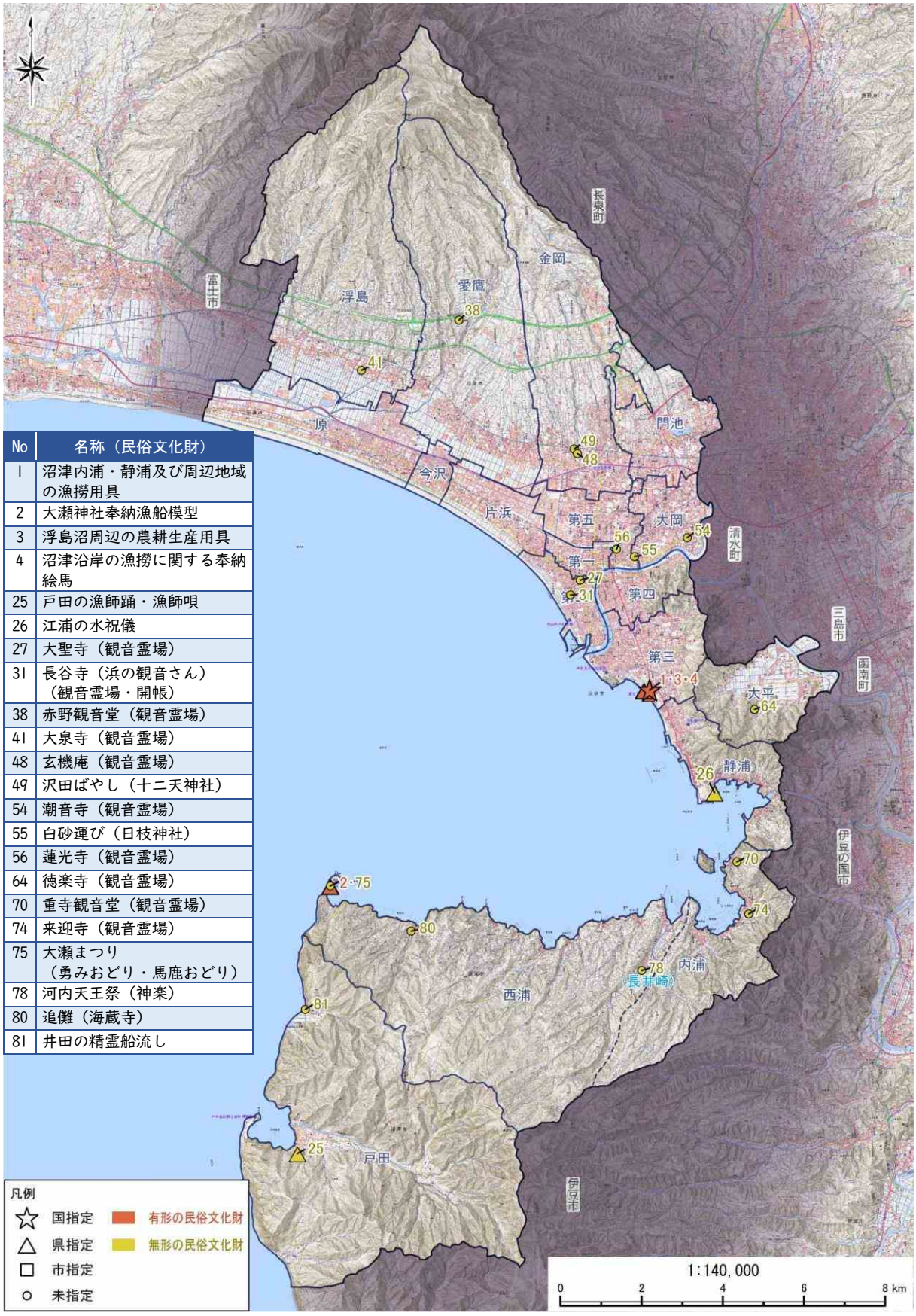
なお、歴史民俗資料館等には、指定文化財の他にも有形の民俗文化財が豊富に保存されており、これらを分析して特色ある有形の民俗文化財を価値付けることが望まれます。

【無形の民俗文化財】

戸田の漁師踊・漁師唄《戸田》と江浦の水祝儀《静浦》が、県の無形の民俗文化財に指定されています。戸田の漁師踊・漁師唄は、紀州徳川家の江戸城石垣石材の切り出しと回漕を請け負った戸田地区に、紀州徳川家から伝わったものです。御船歌や鯨突きなどの芸能が、漁師によって代々伝承されてきました。江浦の水祝儀は、江浦地区で行われている伝統行事で、１月２日に前年に結婚した花婿らに水をかけて祝うものです。

未指定のものでは、西浦河内に市内で唯一の獅子神楽が伝わっています。大瀬神社の例祭である大瀬まつりは、女装した男性が船上で踊る珍しい祭りで、天下の奇祭といわれています。また、本市には「駿河伊豆両国横道」などの観音霊場の札所が各地にあり、巡拝は今も続いています。

今でも本市の産業を支える水産加工技術やタカアシガニ・深海魚料理などの食文化は、本市の特徴的な歴史文化といえます。



No	名称（民俗文化財）
1	沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具
2	大瀬神社奉納漁船模型
3	浮島沼周辺の農耕生産用具
4	沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬
25	戸田の漁師踊・漁師唄
26	江浦の水祝儀
27	大聖寺（観音霊場）
31	長谷寺（浜の観音さん）（観音霊場・開帳）
38	赤野観音堂（観音霊場）
41	大泉寺（観音霊場）
48	玄機庵（観音霊場）
49	沢田ばやし（十二天神社）
54	潮音寺（観音霊場）
55	白砂運び（日枝神社）
56	蓮光寺（観音霊場）
64	徳楽寺（観音霊場）
70	重寺観音堂（観音霊場）
74	来迎寺（観音霊場）
75	大瀬まつり（勇みおどり・馬鹿おどり）
78	河内天王祭（神楽）
80	追儺（海蔵寺）
81	井田の精霊船流し

図25　主な民俗文化財の分布（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応

５　記念物

愛鷹山裾などに本市の歴史文化を象徴する遺跡があり、海岸沿いには、優れた名勝地や貴重な動物・植物・地質鉱物などが残っています。

【遺跡】

史跡は、旧石器時代では休場遺跡《愛鷹》（国指定）、古墳時代では長塚古墳《金岡》（県指定）、神明塚古墳《片浜》、子ノ神古墳《金岡》（いずれも市指定）の３基の前方後円墳ならびに井田松江古墳群《戸田》、江浦横穴群《静浦》（いずれも県指定）があります。飛鳥時代では日吉廃寺塔址及び礎石《大岡》（市指定）、鎌倉時代以降は、霊山寺変形宝篋印塔と霊山寺五輪塔《第四》、伝阿野全成・時元墓《浮島》（いずれも市指定）、城郭では興国寺城跡《浮島》と長浜城跡《内浦》（いずれも国指定）があります。江戸時代に関わるものとしては白隠禅師墓《原》（県指定）、洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所附関係遺品一括《戸田》（県指定）、日露交渉地跡大行寺《戸田》（市指定）があります。

休場遺跡（石囲炉跡）

未指定のものでは、埋蔵文化財包蔵地以外には、大平古城《大平》などの城跡や江戸幕府官営馬牧であった愛鷹牧の１つである元野牧《愛鷹》の遺構が良好に残っています。また、近世では沼津宿《第二》・原宿《原》に関する跡地、近代では日本近代化に貢献した人材が輩出した沼津兵学校跡《第一》も沼津市の歴史を考えるうえで重要な遺跡です。南部地域には、石丁場跡や戦争関連遺跡《静浦など》が多く残っています。

【名勝地】

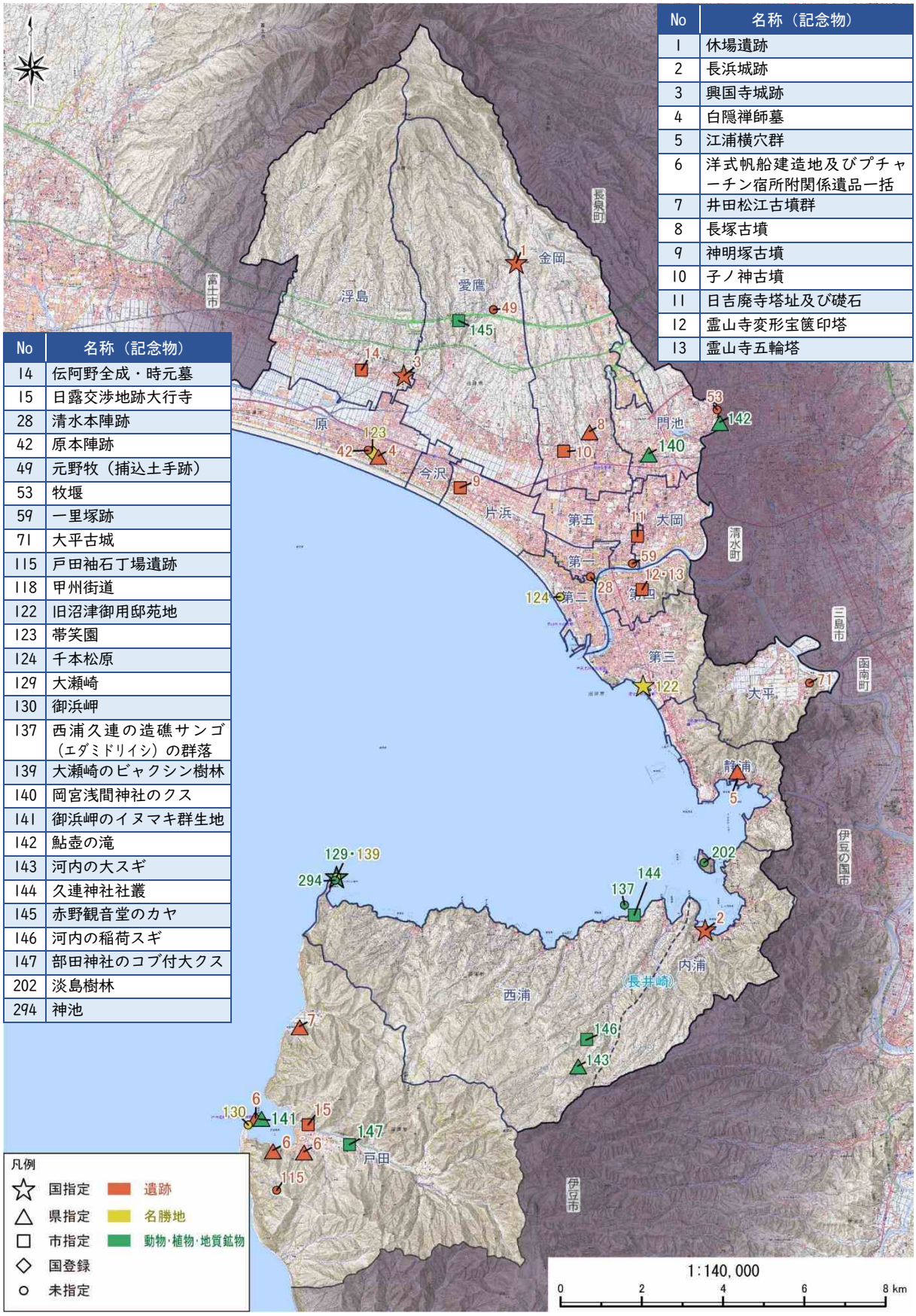
沼津御用邸記念公園の大半が旧沼津御用邸苑地《第三》として国指定となっています。また、東海道の名園として知られた帯笑園《原》も名勝地関係として国登録となっています。

指定は受けていませんが、砂嘴地形である大瀬崎《西浦》と戸田御浜岬《戸田》、海底火山の名残の淡島《静浦》も景勝地として古くから知られている場所です。南部の入り組んだ海岸線は風光明媚な地として絵葉書にも数多く残されています。

大瀬崎のビャクシン樹林（御神木）

【動物・植物・地質鉱物】

植物関係では樹木を中心に国指定等を受けていま



No	名称（記念物）
1	休場遺跡
2	長浜城跡
3	興国寺城跡
4	白隠禅師墓
5	江浦横穴群
6	洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所附関係遺品一括
7	井田松江古墳群
8	長塚古墳
9	神明塚古墳
10	子ノ神古墳
11	日吉廃寺塔址及び礎石
12	霊山寺変形宝篋印塔
13	霊山寺五輪塔

No	名称（記念物）
14	伝阿野全成・時元墓
15	日露交渉地跡大行寺
28	清水本陣跡
42	原本陣跡
49	元野牧（捕込土手跡）
53	牧堰
59	一里塚跡
71	大平古城
115	戸田袖石丁場遺跡
118	甲州街道
122	旧沼津御用邸苑地
123	帯笑園
124	千本松原
129	大瀬崎
130	御浜岬
137	西浦久連の造礁サンゴ（エダミドリイシ）の群落
139	大瀬崎のビャクシン樹林
140	岡宮浅間神社のクス
141	御浜岬のイヌマキ群生地
142	鮎壺の滝
143	河内の大スギ
144	久連神社社叢
145	赤野観音堂のカヤ
146	河内の稲荷スギ
147	部田神社のコブ付大クス
202	淡島樹林
294	神池

図26　主な記念物の分布（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応

す。大瀬崎のビャクシン樹林《西浦》（国指定）は大瀬崎一帯に100本以上が自生する全国的にも稀な植生です。御浜岬のイヌマキ群生地《戸田》（県指定）も岬の先端に200本以上群生しています。岡宮浅間神社のクス《門池》と河内の大スギ《西浦》は、市域でも特に際立った巨木であり、県指定を受けています。久連神社社叢《西浦》（市指定）では、この地域の自然植生が観察できます。

地質関係として鮎壺の滝《門池》（県指定）は、黄瀬川にかかる滝で、約10,000年前に富士山から噴出した三島溶岩流の末端に位置し、溶岩流の断面が見られます。

鮎壺の滝

未指定のものでは伊豆半島ジオパークのジオサイトに登録されている、淡島などの海底火山の痕跡、御浜岬や大瀬崎などの地形があります。大瀬崎の神池は細長い岬の先端にあり、周囲が海に囲まれている地形にもかかわらず淡水という不思議な池です。西浦地区の海底には、造礁サンゴの北限と称されるエダミドリイシの群落があります。また、戸田港沖合の深海にはタカアシガニなどの駿河湾の深海生物も生息しています。

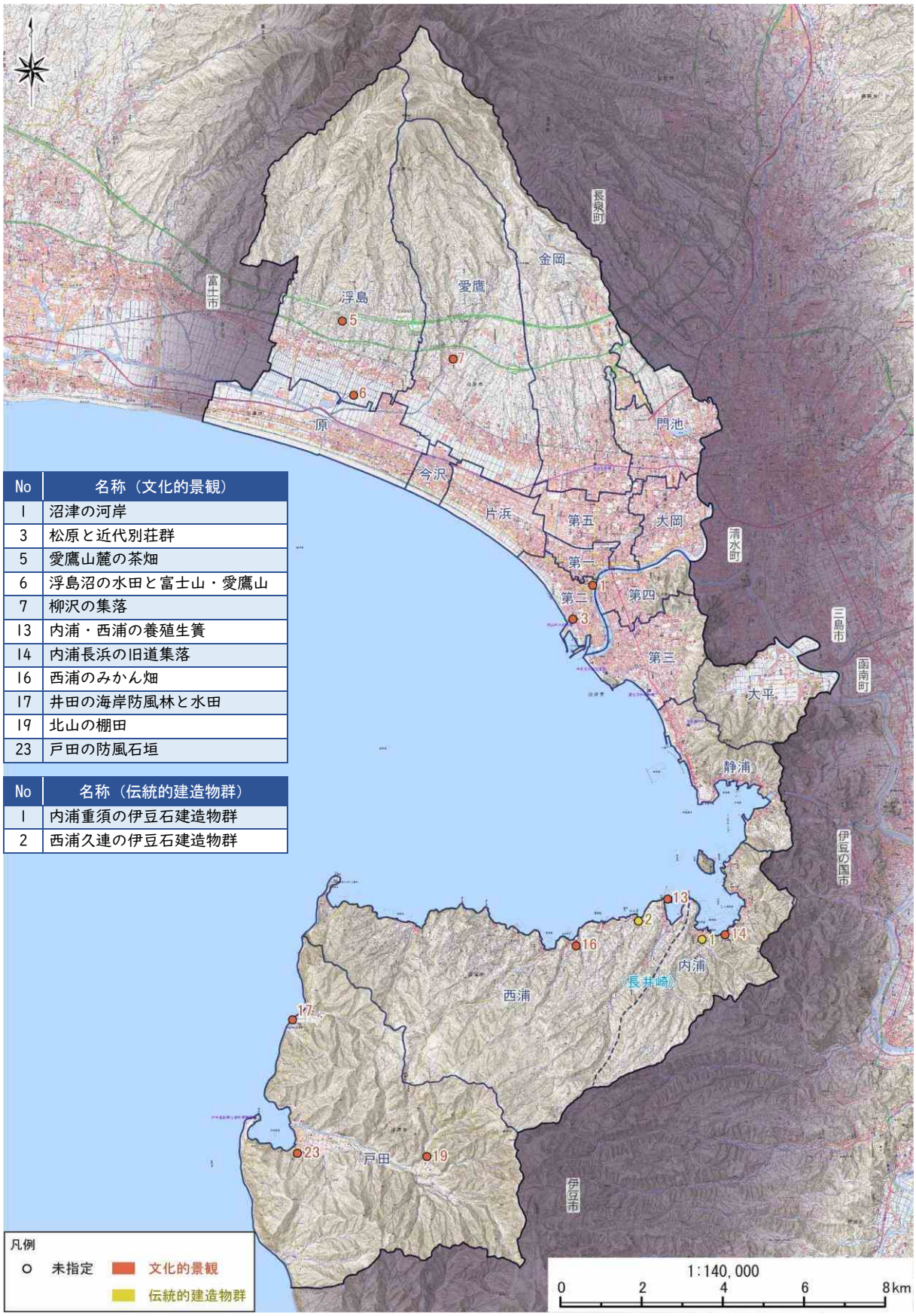
6　文化的景観

文化財の選定はありませんが、山麓や海岸を中心に文化的な景観が残っています。例えば、井田《戸田》の海岸防風林と水田、西浦地区のみかん畑、戸田地区の防風石垣、内浦・西浦地区の養殖生簀、浮島沼の水田と富士山・愛鷹山、愛鷹山麓の茶畑、松原と近代別荘群《第二》などが代表的なものです。このほか、北山《戸田》の棚田や海岸段丘上の集落である舟山《戸田》は、山間部での生活の工夫が垣間見える景観といえます。

7　伝統的建造物群

文化財の選定はありませんが、南部地域の集落の旧道沿いには伊豆石を使用した伊豆石建造物が数多く残っています。内浦重須や西浦久連などの石蔵群はその代表的なものです。石蔵以外にも住宅の１階部分や壁面の一部分だけが石積みの建物など、個性的な建物が点在しています。

西浦久連の伊豆石建造物群



No	名称（文化的景観）
1	沼津の河岸
3	松原と近代別荘群
5	愛鷹山麓の茶畑
6	浮島沼の水田と富士山・愛鷹山
7	柳沢の集落
13	内浦・西浦の養殖生簀
14	内浦長浜の旧道集落
16	西浦のみかん畑
17	井田の海岸防風林と水田
19	北山の棚田
23	戸田の防風石垣

No	名称（伝統的建造物群）
1	内浦重須の伊豆石建造物群
2	西浦久連の伊豆石建造物群

図 27　主な文化的景観・伝統的建造物群の分布
（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応

８　埋蔵文化財

本市には400以上の埋蔵文化財包蔵地があります。主なものは愛鷹山麓の原始遺跡や古墳・古墳群です。愛鷹山麓は、約38,000年前からの旧石器時代の遺跡が多数分布する全国的にも珍しい地域です。また、富士市にかけて山麓には群集墳が密集しており、その数は東海地方屈指です。古墳は形状も多彩で、南部地域には凝灰岩質の岩盤を掘りぬいて造られた横穴も見られます。中世の城館跡は15か所、経塚は５か所、窯跡は１か所あります。ほかに本市で特筆すべき特徴として、江戸時代の石丁場跡が22か所登録されています。

９　文化財の保存技術

本市には、国や県の選定保存技術として選定されている文化財の保存技術はありません。未指定では、古くから本市の石蔵や古建築の基礎などに用いられてきた石材を生産するための技術があります。この技術を使って生産された石材は、本市の建築物などの歴史文化資産の材料として幅広く利用されてきました。石の堆積状況に応じた２種類の採掘方法が現在まで伝えられており、石切場や使われてきた道具も残されています。

表20　主な埋蔵文化財包蔵地の一覧

	名称
35	興国寺城跡
109	休場遺跡
129	長塚古墳
176	日吉廃寺跡
197	神明塚古墳
235	江浦横穴群
251	長浜城跡
H3	井田松江古墳群
(16)	石川古墳群
(66)	目黒身遺跡
(70)	四ッ塚古墳群
(71)	元野遺跡
(95)	八兵衛屋敷遺跡
(111)	西洞遺跡
(132)	木戸上遺跡
(136)	二本松遺跡
(138)	広合遺跡
(154)	清水柳遺跡
(158)	三明寺遺跡
(159)	三明寺経塚
(164)	宮下古墳
(183)	沼津城跡

	名称
(195)	松長古墳群
(196)	上ノ段遺跡
(203)	雌鹿塚遺跡
(204)	雄鹿塚遺跡
(207)	天神洞古墳群
(211)	御幸町遺跡
(214)	香貫山経塚
(216)	宮原１号墳
(222)	藤井原遺跡
(225)	清水瓦窯跡
(231)	大平新城跡
(234)	獅子浜城跡
(250)	白髭遺跡
(252)	長井崎遺跡
(276)	高尾山古墳
(281)	八兵衛洞遺跡
(306)	尾上イラウネ遺跡
(324)	阿野氏館
(332)	稲荷林遺跡
(348)	北神馬土手遺跡
(351)	土手上遺跡
(352)	ニツ洞遺跡

	名称
(354)	中見代第Ⅰ遺跡
(355)	中見代第Ⅱ遺跡
(356)	中見代第Ⅲ遺跡
(357)	葛原沢第Ⅳ遺跡
(360)	尾上イラウネ北遺跡
(363)	清水柳北遺跡
(364)	清水柳北古墳群
(367)	鳥沢遺跡
(368)	下石田原田遺跡
(372)	千本遺跡
(381)	植出北遺跡
(386)	秋葉林遺跡
(397)	西通北遺跡
(403)	渕ヶ沢遺跡
(411)	井出丸山遺跡
(412)	井出古墳群
(416)	植出北Ⅱ遺跡
(419)	馬見塚古墳群
(434)	戸田烏ケ原石丁場遺跡
(435)	戸田上小山田石丁場遺跡

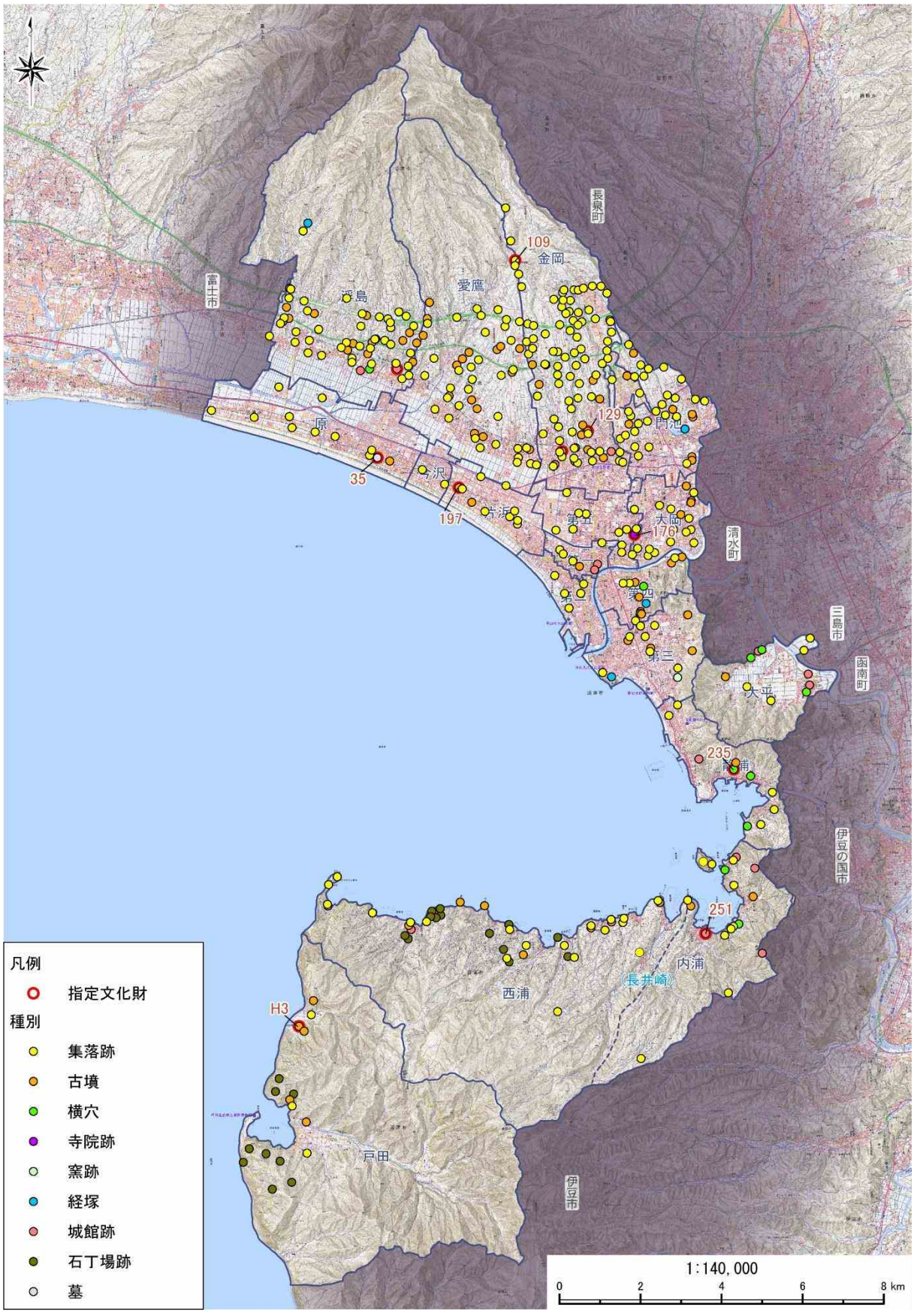


図28　埋蔵文化財包蔵地の分布（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図に番号を記載したものは、指定文化財のみです。72 ページの表 20 において包蔵地番号を（　）内で記したものについては、未指定文化財であり、本図に位置は示しましたが番号は記載していません。

10　未調査の石造物

本市には数多くの石造物が残っており、鳥居、灯篭、石仏、墓石、石塔、記念碑などその種類は多様です。石造物は神社・寺院の境内などだけでなく、道沿いにも見受けられ、古くから集落が立地していた東海道・根方街道沿いや南部地域の集落には特に目立ちます。市の全域で目立つのは巡礼塔・巡拝塔であり、江戸時代に流行した観音霊場巡りをはじめとする観音信仰が当地域でも盛んであったことがうかがえます。庚申塔や甲子塔も各地にありますが、愛鷹山には幕府官営の馬牧があり、馬は江戸時代から近代まで荷運びや農作業の重要な役割を担っていたことから、市の北部・西部地域には馬頭観音が多くあります。南部地域には、幕末から明治時代にかけて念仏を広めた唯念上人の独特な揮毫で「南無阿弥陀仏」と彫られた名号塔が見られます。また、災害・戦争などの出来事を伝える石碑や、本市の情景を愛した文人の文学碑も見られます。

市内各地には旧家・豪農・豪商・文人、近代では戦没兵士などの墓石が存在しています。中心地域の寺院には沼津藩士や静岡藩士のものなどが混在し、本市が武士の住む城下町であったことがうかがえます。

塔の辻の石塔群《門池》

長浜の唯念上人の名号塔《内浦》

赤野観音堂の巡礼塔《愛鷹》

大塚の馬頭観音《原》

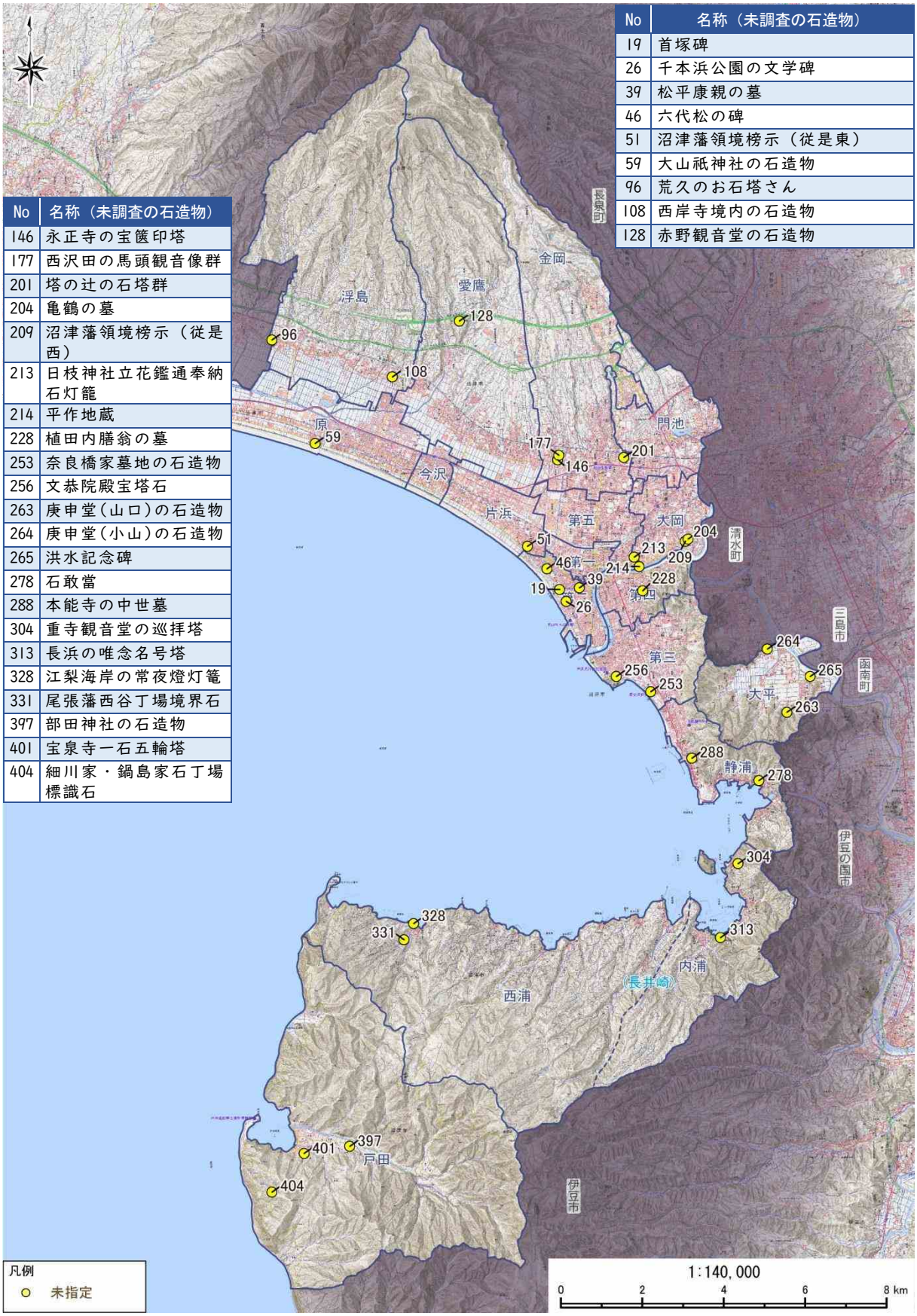


図29　主な未調査の石造物の分布（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応

11　縁の地

神社・寺院のほか、旧家、文学、映画、テレビドラマ、アニメ作品などに縁のある地・空間が含まれます。

日枝神社

神社は、平安時代の延喜式神名帳に記されている神社（式内社）の比定地である丸子神社《第一》、桃澤神社《愛鷹》、長浜神社《内浦》、大瀬神社《西浦》、鮑玉白珠比咩命神社《西浦》、井田神社《戸田》、部田神社《戸田》、諸口神社《戸田》（または江梨神明神社）があります。また、日枝神社《第五》は平安時代末に創建され、江戸時代には周辺22か村の総鎮守として崇拝されていました。比較的新しいものとしては、幕末に甲斐国（現山梨県）から分祀された高尾山穂見神社《金岡》も地域の崇拝を集めています。

光長寺

寺院は、臨済宗や日蓮宗系の寺院などが多く、特に本市の歴史文化と深い関わりのある寺院としては、臨済宗白隠派大本山の松蔭寺《原》や法華宗本門流総本山の光長寺《門池》があります。また、来迎寺《内浦》、禅長寺《西浦》、三光寺《戸田》なども、本市の歴史文化と深い関わりがあります。歴史上の人物と関わりがある寺としては、源頼朝の異母弟阿野全成の墓がある大泉寺《浮島》、北条早雲の姉北川殿が開基となっている桃源院《大平》、三枚橋城主松平康親、若山牧水の墓がある乗運寺《第二》、三枚橋城主大久保忠佐の菩提寺である妙伝寺《第二》、興国寺城主河毛重次が開基の本法寺《浮島》、源頼朝に平家打倒の挙兵を促したという文覚上人が開基の金剛寺《片浜》、大正天皇や昭憲皇太后が度々訪れた大中寺《金岡》などがあります。

地域の有力な家として名主などを務め長らく地域を支えてきた旧家は、数多くの歴史文化資産を伝え、多様な伝承があります。財界人であり民俗学者でもあった渋沢敬三が大川四郎左衛門との出会いから、『豆州内浦漁民史料』として紹介した古文書発見の舞台となった長浜《内浦》の大川家や、紀州藩御用掛を務めた戸田の勝呂家などがあります。

長井崎小中一貫学校と内浦湾

文学では、芹沢光治良の作品に、自身が育った我入道《第三》や、皇族との交流の場として帯笑園《原》になぞらえた庭園が登場します。映画やテレビドラマ作品でも内浦・西浦地区や沼津港などが、撮影の舞台となっています。アニメに関連するものとしては、「ラブライブ！サンシャイン!!」に登場する、長井崎小中一貫学校や内浦周辺のみかん畑・まちなみがあげられます。

12　歴史的産業

歴史的産業とは、地域の産業として長年人々を支えてきた産業を指し、場所や技術、生産物を含みます。沼津市の南部地域で今も西浦みかんのブランドで販売されているみかんの起源は、江戸時代に紀州から伝わった紀州みかんの栽培から始まり、明治時代には温州みかんが広まり海外輸出も始まるなど南部地域の大きな産業として栄え、今に伝わっています。

みかんの貯蔵施設内部

現在は見られなくなった石材産業もその１つです。安山岩質の岩石は、江戸時代の初め江戸城の石垣石材の切り出しが大規模に行われ、駿府城や久能山東照宮（いずれも静岡市）にも石材が供給されました。近代には、横須賀造船所（神奈川県横須賀市）など日本の近代化に関わる施設にも供給されています。近代以降は漁業関係者の漁閑期の仕事としても盛んだった石材の切り出しが大平地区や静浦地区などで活発に行なわれました。本市で採掘された石材は、市域のみならず周辺地域に多量に供給され、今でも市内外で石積み建築物を数多く見ることができます。

現在でも盛んな干物などの水産加工業や愛鷹山麓における茶の栽培・製茶業も、名産物の代表格です。野菜（楊原キュウリ、香貫ナス、愛鷹山の甘藷）も、近代には本市を代表する名産物でした。また、近代から戸田地区で行われている深海のトロール漁は、タカアシガニ料理をはじめとする深海魚料理を地元にもたらした特徴的な産業です。

13　伝承・地名・方言

地域に伝わる伝承（伝説や民話）には、自然などに関わるものとして、浮島沼の雄鹿塚・雌鹿塚の伝説《浮島》や法螺貝が抜け出た伝承のある八畳石《愛鷹》、人物に関わるものとして、源頼政の妻菖蒲御前が隠れ住んだという禅長寺《西浦》があります。木瀬川宿の長者の娘亀鶴は富士の巻狩りの際にその美貌から頼朝に招かれたものの、これに応じずに黄瀬川の藍壺（鮎壺の滝）《門池》に身を投げたといわれています。

歴史的事件に関わるものとしては、源平の合戦の頃、平家の嫡流である六代が捕らえられ鎌倉まで連れられていく途中、千本松原で処刑されそうになったところを文覚上人に助命されたという伝承が残っており、そのゆかりの地には、江戸時代に村人たちが建てた石碑《第二》もあります。

地名には伝承が伴うものや歴史的名残を持つものがあります。曼陀ヶ原《第三》は日蓮上人が津波・高潮の被害がなくなるよう曼陀羅を松にかけて祈祷した地と伝わっています。また、南部地域には久連《西浦》などの難読地名や、足保《西浦》、立保《西浦》などの古代の行政単位の「保」の名残をもつ地名もあります。

方言には、静岡県東部・伊豆地方の他市町と共通するものが多く、代表的なものとして主に推量表現として語尾につける「～ずら」があります。沼津を舞台にしたアニメの登場人物が使用したことで、若年層にも地域の文化として認識されるようになりました。「～ずら」は今ではほとんど耳にしなくなりましたが、同じ推量表現で形容詞や動詞の語尾につける「～ら」「～だら」などは、あらゆる世代に浸透している方言です。「イーラde」「くるら戸田」などの施設にも、方言をもとにした名称が採用されています。また、一人称・二人称の語尾に「っち」（例：わたしっち＝わたしたち）をつける複数形を表す接尾辞や、「かじる（＝引っ掻く）」、「（い）やんでく（＝歩いていく）」、「とぶ（＝走る）」などの動詞も方言です。

八畳石

六代松碑

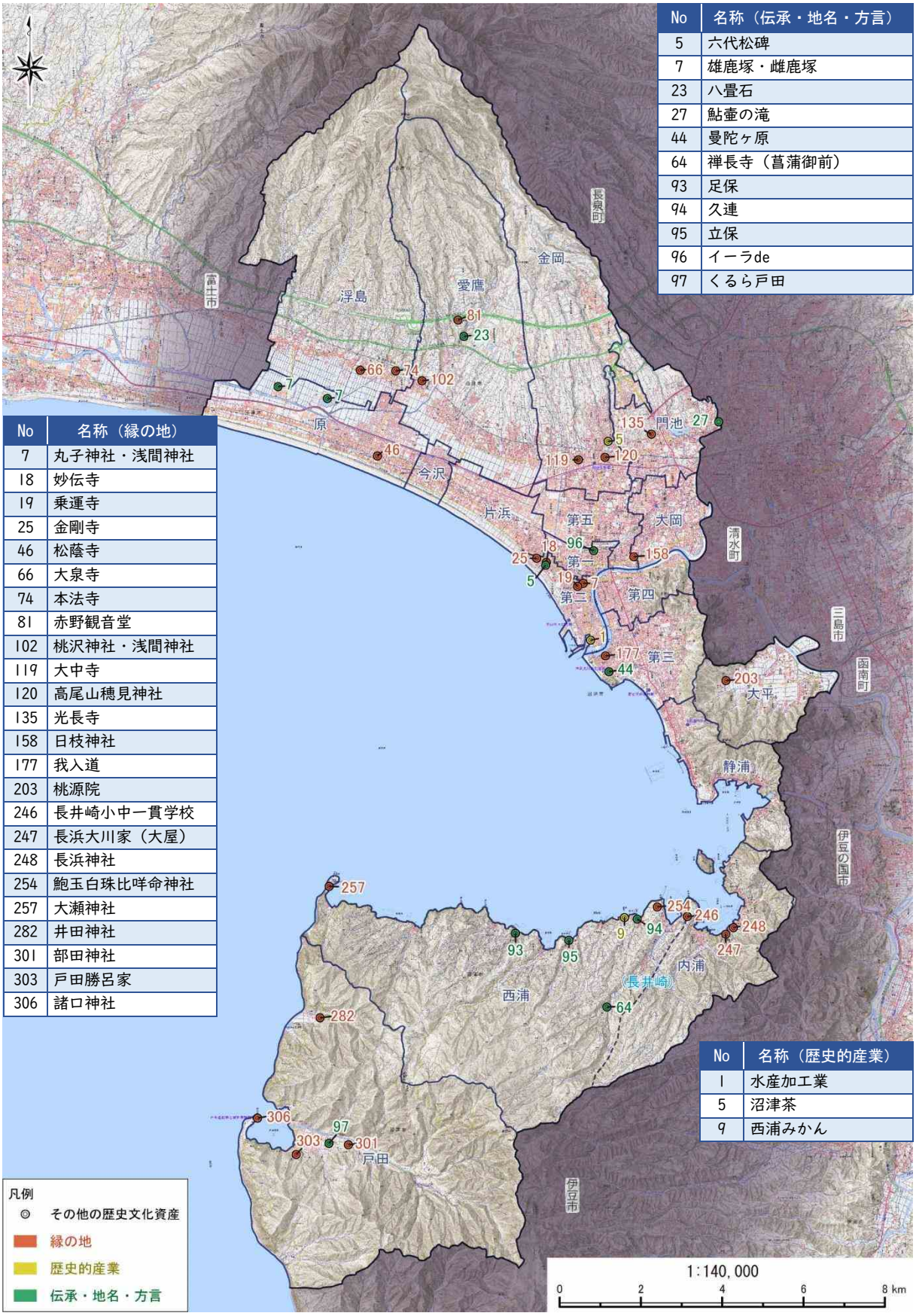


図 30　主な縁の地、歴史的産業、伝承・地名・方言の分布
（国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成）

※本図のNo.は巻末の資料集のNo.と対応